

OpenAIの新境地：GPT-6 Sol & Luna — 「性能」から「コスト効率」の競争へ

圧倒的な「価格破壊」とモデルの役割



実力検証：知能の維持と新たな課題



知能指数は維持しつつ
幻覚率が改善

Solの幻覚率

92% から 60%

ただし「回答を控える」傾向が強まった。



知識労働分野では
一部性能が後退

成果物の短文化や要素欠落が見られ、
網羅性には上位モデルでの検証が必要。

競争の主戦場は「インフラとしての安さ」へ

性能向上だけでなく、昨日のフロンティアをいかに安く提供するか戦争が始まった。